



# いちよう

札幌市立真栄小学校  
学校便り 特別号  
令和7年12月22日

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

札幌市の令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されたことを受け、本校児童(調査対象：6年生)についても、遅くなりましたが、教科に関する調査の結果概要及び改善の方向と、生活習慣や学習習慣等に関する調査の傾向がまとまりましたので、お知らせいたします。今回の結果を、学校全体の課題として捉え、今後の指導に活かしてまいります。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解ください。

### 国 語

#### 本校の概要

##### 〔知識及び技能〕

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

- 「情報の扱い方に関する事項」
  - ・ 全国平均を下回っている。

- 「我が国の言語文化に関する事項」
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

##### 〔思考力、判断力、表現力等〕

- 「話すこと・聞くこと」
  - ・ 全国平均を下回っている。

- 「書くこと」
  - ・ 全国平均を下回っている。

- 「読むこと」
  - ・ 全国平均を下回っている。

#### 今回の調査における課題

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うことができる。
- 時間の経過による言葉の変化や、世代による言葉の違いに気付くことができる。
- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- 事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に抑え、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。

#### 改善の方向

- 読む目的を明確にした上で、図表などが文章のどの部分と結び付くかを線で結ぶなどして視覚的に理解できるようにする。
- 言語文化の変化や違いについて興味をもたせるような教材を積極的に活用する。
- メモを取るなど、話の意図や要旨を的確に捉えられるような活動を取り入れる。
- 書く目的や意図を明確にし、条件に合わせ簡単に書いたり、詳しく書いたりするとともに、図表を用いるなど、必要な場合を判断しながら書き表し方を工夫する学習活動を充実させる。
- 書き手の考えを自分の言葉で短くまとめるなどして、内容の中心となる事柄を捉える活動を充実させる。

# 算 数

## 本校の概要

- 「数と計算」
  - ・ 全国平均を下回っている。
  
- 「図形」
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
  
- 「測定」
  - ・ 全国平均を下回っている。
  
- 「変化と関係」
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
  - ・
  
- 「データの活用」
  - ・ 全国平均を下回っている。

## 今回の調査における課題

- 示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる。
- 小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて共通する単位を捉えることができる。
- 異分母分数の加法の計算をすることができる。
  
- 角の大きさについて理解している。
  
- はかりの目盛りを読むことができる。
  
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できる。
  
- 目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。

## 改善の方向

- 具体物の操作活動を取り入れたり、図や表を活用して数量の関係を視覚的に理解したりすることで、問題場面を数式に表す力を伸ばす。
- 「分数の大小」「通分・約分」など、つまづきやすいポイントを重点的に扱うとともに、分数を身近な場面で使う機会を増やすことで、実感をもたせた理解を促す。
- 分数は単位分数の幾つ分かで表せることを操作活動や図を用いて理解させる。
  
- 辺の開き具合に着目して比べる学習活動を充実させる。また、分度器を用いて角の大きさを測定したり、角を作ったりする際には角の大きさの見当を付けることで、角の大きさについての感覚を育てる。
  
- 身の回りのものの大きさを、単位を用いて表現する活動を充実させる。その際、はかりの最小目盛りの大きさに着目させる。
  
- 日常の事象について、目的に応じて必要なデータを収集し、データの特徴や傾向を考察する活動を充実させる。また、ある数量を調べる際、それと関係する数量を見だし、二つの数量関係を表式・言葉を用いて表現する活動を充実させる。
  
- グラフから分かることをノートに書いたり、書いたことを基に交流したりすることで、グラフを読み取ったことを説明する力を伸ばす。

# 理 科

## 本校の概要

- 「エネルギーを柱とする領域」
  - ・ 全国平均を下回っている。
  
- 「粒子を柱とする領域」
  - ・ 全国平均を下回っている。
  
- 「生命を柱とする領域」
  - ・ 全国平均を下回っている。
  
- 「地球を柱とする領域」
  - ・ 全国平均を下回っている。

## 今回の調査における課題

- 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いている。
- 乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いている。
  
- 身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引き付けられるものがあることの知識が身に付いている。
  
- ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。
  
- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して、表現することができる。
  
- 水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。

## 改善の方向

- 条件を整え正確な比較実験を行い、結果や結論を図に整理したり、言葉で説明したりするなど、知識と関係付けながら理解を深めていく学習活動を充実させる。
  
- 結論を伝える発言や記述の中で、根拠として結果を示したり、理由を表現したりすることのよさに気付かせる。
  
- 観察・実験で得られた事実と、そこから導き出される科学的な結論を明確に区別して記述する学習活動を行う。
  
- 授業で学んだことが実際の自然現象とどう結びについているかについて考える機会を増やす。
  
- 加熱をしなくても水が蒸発する場面を探したり、低い温度で水が蒸発する場面と沸騰で蒸発する場面との差異点や共通点を整理したりすることで、状態変化を概念的に理解していく学習活動を充実させる。

(次ページから掲載している)質問紙調査では、子どもたちは、「理科の勉強は得意」「理科の勉強は好き」「理科の授業の内容はよく分かる」という回答が多かったのですが、上記のように、理科では、すべての領域で全国平均を下回っているという結果になりました。時間が経つと学習内容を忘れてしまうということが原因の一つかと考えられます。知識を定着させることの重要性を改めて感じました。改善の方向として考えたことはもちろんですが、家庭学習が国語・算数に偏らないようにするなど、御家庭の御協力も、ぜひよろしくお願いいたします。

## 質問紙調査

### 【肯定的な回答が、全国平均と比較して大きく上回っている質問】

- 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。
- 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか。
- 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができると思いますか。
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理することができると思いますか。
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思いますか。
- 5 年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。
- 5 年生までに受けた授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- 5 年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
- 5 年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
- 授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
- 授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり生かしたりすることができると思いますか。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいます。

【肯定的な回答が、全国平均と比較して大きく上回っている質問】 続き

- 国語の勉強は得意ですか。
- 国語の勉強は好きですか。
- 国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか。
- 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか。
- 国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか。
- 理科の勉強は得意ですか。
- 理科の勉強は好きですか。
- 理科の授業の内容はよく分かりますか。
- 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか。
- 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり問題を見出したりしていますか。
- 理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想を考えていますか。
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを普段の生活に役立てていますか。
- 解答時間は十分でしたか。(国語・算数)

【肯定的な回答が、全国平均と比較して大きく下回っている質問】

- ▲土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。
- ▲学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。
- ▲学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。
- ▲新聞を読んでいますか。
- ▲5年生までに受けた授業でPC、タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- ▲算数の授業は得意ですか。
- ▲算数の授業の内容はよく分かりますか。
- ▲算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。
- ▲将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。

調査結果を教育活動の改善に役立てるため、たくさんの質問のうち全国平均との差が大きかった項目や課題となる結果のみを取り上げて紹介していますが、上記の通り、否定的な回答に比べ、肯定的な回答が圧倒的に多い結果となりました。また、多くの子どもたちは学校に行くことを楽しく感じており、とても嬉しく思います。

今回の調査では、ICT機器の活用について肯定的な回答が多い結果となりました。しかし、その一方で、SNSや動画を長時間視聴しており、本や新聞からは離れている実態も見受けられました。情報を正しく読み取ったり、相手に伝わる表現を身に付けたりするためには、本や新聞を読むことで語彙や様々な表現方法を学ぶことが大切です。そのため、今後も引き続き、図書館の利用促進を含めた読書に関する取組を継続していきます。

ICT機器の活用が進む中ではありますが、真栄小学校では出前授業や校外学習などによる体験活動も大切にしながら子どもたちの学ぶ力を更に伸ばしていきたいと考えています。そして、その実現のためには、学校と家庭が一体となって子どもたちの「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを支えていくことが大切です。これからも真栄小学校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。